

# 投与期間に上限が設けられている医薬品(平成30年9月1日より)

(平成18年3月6日厚生労働省告示第107号)

(平成28年10月13日厚生労働省告示第365号)

投与期間の上限	成分名		共和製品の該当品目
14日分を限度とする 内服薬・外用薬・注射薬	1.麻薬 (麻薬及び向精神薬取締法第2条第一号に規定する麻薬) (30日分限度の麻薬を除く)	(略)	—
	2.向精神薬 (麻薬及び向精神薬取締法第2条第六号に規定する向精神薬) (30日分・90日分限度の向精神薬を除く)	セコバルビタール、アモバルビタール、ペンタゾシン、ペントバルビタール、アロバルビタール、クロラゼブ酸、バルビタール、マジンドール、ミダゾラム (医薬品のみを抜粋)	—
	3.新医薬品	(略)	—
30日分を限度とする 内服薬・外用薬・注射薬	1.向精神薬	【内服薬】アルプラゾラム、エスタゾラム、エチゾラム、オキサゾラム、クアゼパム、クロキサゾラム、クロチアゼパム、クロルジアゼポキシド、ゾピクロン、ゾルピデム酒石酸塩、トリアゾラム、ニメタゼパム、ハロキサゾラム、プラゼパム、フルジアゼパム、フルニトラゼパム、フルラゼパム塩酸塩、プロチゾラム、プロマゼパム、ベモリン、メダゼパム、メチルフェニデート塩酸塩、モダフィニル、ロフラゼブ酸エチル、ロラゼパム、ロルメタゼパム、クロルプロマジン・プロメタジン配合剤、メペンゾラート臭化物・フェノバルビタール配合剤、プロキシフィリン・エフェドリン配合剤 【注射薬】ブプレノルフィン塩酸塩	エスタゾラム錠1mg, 錠2mg「アメル」(エスタゾラム) エチゾラム錠0.25mg, 錠0.5mg, 1mg「アメル」(エチゾラム) アルプラゾラム錠0.4mg, 錠0.8mg「アメル」(アルプラゾラム) クアゼパム錠15mg, 錠20mg「アメル」(クアゼパム) ゾピクロン錠7.5mg, 錠10mg「アメル」(ゾピクロン) ゾルピデム酒石酸塩錠5mg, 錠10mg「アメル」(ゾルピデム酒石酸塩) ダルメートカプセル15(フルラゼパム塩酸塩) ハルラック錠0.125mg, 錠0.25mg(トリアゾラム) フルニトラゼパム錠1mg, 錠2mg「アメル」(フルニトラゼパム) プロチゾラムOD錠0.25mg, 錠0.25mg「アメル」(プロチゾラム) レスミット錠2, 錠5(メダゼパム)
	2.麻薬	【内服薬】オキシコドン塩酸塩、オキシコドン塩酸塩水和物、コデインリン酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩、モルヒネ塩酸塩、モルヒネ硫酸塩 【外用薬】フェンタニル、フェンタニルクエン酸塩、モルヒネ塩酸塩 【注射薬】フェンタニルクエン酸塩、モルヒネ塩酸塩	—
90日分を限度とする 内服薬	向精神薬 (右欄の成分を含有する内服薬)	ジアゼパム、ニトラゼパム、フェノバルビタール、クロナゼパム、クロバザム、フェニトイン・フェノバルビタール配合剤	ジアゼパム錠2mg, 錠5mg, 散1%「アメル」(ジアゼパム) ベンザリン細粒1%, 錠2, 錠5, 錠10(ニトラゼパム)

## 留意事項:

「「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等」及び「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」の実施上の留意事項について」の一部改正について  
(平成24年3月26日 厚生労働省保険局医療課長 保医発0326第5号)

### 第10 厚生労働大臣が定める注射薬等(掲示事項等告示第10関係)

#### 4 投薬期間に上限が設けられている医薬品

- 投薬量又は投与量が14日分を限度とされる内服薬及び外用薬並びに注射薬として、麻薬及び向精神薬取締法(昭和28年法律第14号)第2条第1号に規定する麻薬等を定めたものである。
- 投薬量又は投与量が30日分を限度とされる内服薬及び外用薬並びに注射薬として、アルプラゾラム等を定めたものである。
- 投与量が90日分を限度とされる内服薬として、ジアゼパム等を定めたものである。
- 投与期間に上限が設けられている麻薬又は向精神薬の処方、薬物依存症候群の有無等、患者の病状や疾患の兆候に十分注意した上で、病状が安定し、その変化が予測できる患者に限って行うものとする。  
そのほか、当該医薬品の処方に当たっては、当該患者に既に処方した医薬品の残量及び他の医療機関における同一医薬品の重複処方の有無について患者に確認し、診療録に記載するものとする。